

推奨工具は以下のような物が有ると作業効率が良いでしょう。

10mm、12mm、13mm、17mmのボックスレンチ、+ドライバー、100N・m程度までのトルクレンチ



別紙P1/2の写真を参考にしながら下記の補足説明に沿って怪我をしない様に作業をして下さい。

- (1) 最初に左右のフェンダーを完全に取り外します。(サイドステップ装着車は先に外す)  
ボルトは上2本、下2本、インナークリップ1個、その下にタッピングネジ2箇所です。  
フェンダーを固定している下2本のボルトは錆びていて折れたりする事が有りますのでCRC556などを塗って極力折ったりしない様に無理をせず十分注意して緩めて下さい。  
全てのボルトその他を外してフェンダーが取れましたらウインカーが繋がっていますので無理な力を掛けて配線を切らない様にカプラーのロックを左に回して引きながら外す。  
フェンダーはダンボールや布などの上に置いて傷が付かない様に一時保管して下さい。
- (2) 次はドアヒンジのボルトを1本残して3本を取り外しますがドアが外れて落ちてしまったり動かない様、作業前に必ずガラスを下げて確実にドアを閉めてキーロックをして下さい。  
ドアヒンジのボルトを外したままドアを開けたら必ずドアが落下して怪我の恐れがあります。  
仮に少しずれた程度であれば最後にチリを合わせれば済む事ですので良く理解して下さい。  
3本の外したボルトは今回は使いませんので今後の為に無くさない様に保管して下さい。
- (3) 次はインナーブレースを取付ますが最初に上側のドアヒンジのボルトを図1の様にしてインナーブレースとドアヒンジの隙間に(口)のカラー用ナット(M12ナット)を挟む。  
インナーブレースが軽く動く程度に指で(M8×30、ワッシャー)を仮止めして置く。
- (4) 次は下ヒンジ固定ボルト(M8×25、ワッシャー)2本を仮止めして置く  
この時点で残りの2個の穴位置を合わせながら(3)(4)を90%位で締付けて置く
- (5) P1/2(D)の様にして板付ナットA(短)を(へ)のボディ穴通し用針金に軽く引っ掛けて穴の裏側に板付ナットA(短)を導いてネジ穴が合ったら左指で板付ナットA(短)を動かない様に抑えたままボディ穴通し用針金は引き抜いて取り去って下さい。  
次に(ホ)の(ボルト M10×25)、ワッシャーを取り付けて指で仮止めして置く。
- (6) P1/2(E)の様にして板付ナットB(長)をボディ下部の隙間から挿し込んで穴に合わせる  
残りのボルト(ト)(ボルト M10×25)、ワッシャーを取り付けて指で仮止めして置く。
- (7) 以上で固定する為のボルト、ナット類は全て仮止めが出来ましたので次は本締めします。  
ボルトには適正締め付けトルクが存在しますからトルクレンチで推奨値に締め付けて下さい。  
純正はM8ボルトが30N・mですが今回付属したボルトはハイテンションボルトにしましたので純正より強い約40N・mで締め付けて下さい。(純正のボルトは30N・mなので注意する事)
- (8) M10ボルト2箇所は今回新たに取付ける場所なのですが上部から先に本締めして下さい。  
トルクレンチ約50N・mで締め付けて下さい。次に下部のM10ボルトも同じ様に本締めする。  
計5本全てのボルトをトルクレンチで本締めしましたらこれで固定に関しては完了です。  
くれぐれもボルトと言う物は絶対に締め付け過ぎない様に特に注意して下さいね。  
規定トルク以上に締め付け過ぎるとボルトは破断して折れますので危険なのです。
- (9) 次に(1)で外したフェンダーを持って最初に必ずウインカーのカプラーを差し込む事。  
カプラーを差し込んだら直ぐに必ずウインカーを点灯させて正常である事を確認しておく。
- (10) 最後に(1)で外したフェンダーを固定していた純正ボルト上下4本を上から締付ける。  
トルクレンチ約10N・mでボルトを折らない様にシナリを感じながら締め付けて下さい。  
この際インナーカバーエッジを外に出しておく事、最後に新たなワンタッチクリップでインナーカバーをフェンダーに固定する、最後に2本のタッピングネジを固定して完成

以上の作業要領で左右同じ手順で取り付けをすれば全て完了となります。「お疲れ様でした」